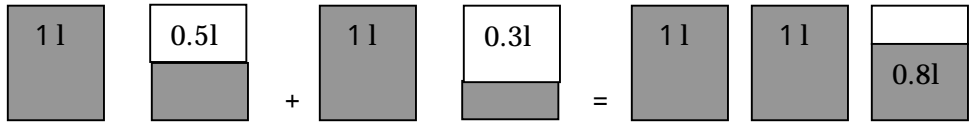
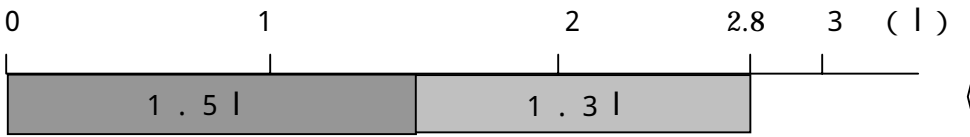


6、本時の目標・・・小数第1位までの小数の加法の計算のしかたを、0.1のいくつ分になるかを整数の場合を基に考え、計算することができる。

7、本時の展開

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つ か む	<p>1、前時の学習をふりかえり、既習したことを確認する。 0.1を8こ集めた数(0.8) 0.1を35こ集めた数(3.5) 0.1を10こ集めた数(1) 1を6こと0.1を2こ合わせた数(6.2) などの問題</p> <p>2、問題を読み、内容をとらえて立式する。 ジュースが1.5ℓはっているびんと、1.3ℓはっているびんがあります。 合わせると何ℓになるでしょう。</p> <p>式 $1.5 + 1.3$</p> <p>3、今までの学習とちがうところに気付き、本時の課題をつかむ。 小数のたし算の計算のしかたを考えよう。</p>	<p>フラッシュカードの利用により、全員に問題を出す。小数のしくみの定着度を確認する。</p> <p>実際に、1.5ℓと1.3ℓのビン(ペットボトル)を見せて、答えの見当付けにつなげる。</p> <p>式から、小数のたし算は初めてであることに気づかせ、今日の学習の課題をつかませる。</p>
深 め る	<p>4、$1.5 + 1.3$の計算のしかたを各自で考える。</p> <p>【マス図で】  【同じ位どうして】 一の位は $1 + 1 = 2$ 小数第1位は $5 + 3 = 8$ 0.1が8こで、0.8 同じ位どうしたして、2.8</p> <p>【数直線で】  【0.1のいくつ分で】 1.5は0.1が15こ 1.3は0.1が13こ $15 + 13 = 28$ 0.1が28こで2.8</p>	<p>自分の考えをどの子も持てるように、ヒントカードを用意する。(マス図、数直線)</p> <p>机間指導をし、どの子にも自分の考えが持てるよう助言する。</p> <p>$5 + 3 = 8$や$15 + 13 = 28$ととらえている児童には、何が8こ、何が28個あるのか確認し、「0.1がいくつ分か」に着目させる。</p>
ま と め る	<p>6、本時のまとめをする。 答えは、2.8ℓになる。 小数のたし算では、0.1のいくつ分かを整数で計算し、また小数にもどす。</p> <p>7、$1.6 + 2$の計算を考える。 $1.6 + 2 = 3.6$ 1.6は0.1が16こ 一の位は $1 + 2 = 3$ 2は、0.1が20こ 小数第1位は $6 + 0 = 6$ $16 + 20 = 36$ 同じ位どうしたして 3.6 0.1が36で3.6</p> <p>8、練習問題をする。 $1.2 + 2.4 = 3.6$ $1.4 + 0.5 = 1.9$ $2.3 + 3 = 5.3$ $1 + 2.7 = 3.7$</p>	<p>それぞれの考え方の似ているところを見つけ、本時のまとめにつなげていく。</p> <p>全員で、$1.6 + 2$を行い、$2 = 2.0$(0.1が20こ)であることを確認する。</p> <p>どの子も小数のたし算ができたか一人一人の確認をする。</p> <p>わからない子への机間指導をする。(S・A児 H・Y児)</p>